

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成 27 年 7 月 30 日 (2015.7.30)

【公開番号】特開 2014-104917 (P2014-104917A)
 【公開日】平成 26 年 6 月 9 日 (2014.6.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-030
 【出願番号】特願 2012-260685 (P2012-260685)
 【国際特許分類】

B 6 2 J 15/00 (2006.01)

B 6 2 J 7/08 (2006.01)

B 6 2 J 6/04 (2006.01)

【F I】

B 6 2 J 15/00 C

B 6 2 J 7/08 A

B 6 2 J 6/04

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 6 月 12 日 (2015.6.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 1】

図 5 に示すように、突部 5 8 の貫通孔 5 8 a は 1 つであるが、2 つ以上設けてもよい。ステータ本体 5 0 の底板 5 4 の底面に、荷掛けフック 6 2 が溶接により固着されている。図 1 に示すように、荷掛けフック 6 2 は、同乗者シート 2 4 の後端部付近に位置している。図 5 に示すステータ本体 5 0 の後端にリヤフラップ取付ブラケット 6 4 が溶接により固定されている。リヤフラップ取付ブラケット 6 4 に、後方斜め上方を向いた貫通孔 6 4 a が左右方向に並んで 2 つ設けられている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 0】

また、突部 5 8 は、底板 5 4 の左右方向中央部に設けられているので、ステータ本体 5 0 の強度を効果的に向上させることができる。また、カバー 5 2 で覆われたステータ本体 5 0 の突部 5 8 に、図 4 に示すハーネス 7 0 , 8 0 を束ねて支持する結束支持部材 6 0 が取り付けられるので、図 2 に示すカバー 5 2 の脚部 8 4 により結束支持部材 6 0 が外部から見えないので、外観が損なわれることはない。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 3】

4 0 リヤフラップ・ステータ

4 2 リヤフラップ

- 4 4 方向指示器（電装品）
- 4 7 照明用ランプ（電装品）
- 5 0 ステータ本体
- 5 2 カバー
- 5 2 a カバーの内面
- 5 4 ステータ本体の底板
- 5 6 ステータ本体の側板
- 5 8 突部
- 6 0 結束支持部材
- 6 2 荷掛けフック
- 6 6 肉抜き孔
- 7 0 方向指示器のハーネス
- 8 0 照明用ランプのハーネス
- 8 4 脚部